

中小企業 サポートかながわ 12月号

第117号 2010年12月

編集/発行
(財)神奈川産業振興センター
TEL 045(633)5201
FAX 045(633)5222

“未来につながる新たな技術”を見つけませんか!

～「テクニカルショウヨコハマ2011」(第32回工業技術見本市)開催～

今回は
2/2▶4

毎年2月初旬の週末に開催される、県下最大の恒例の工業技術・製品総合見本市“テクニカルショウヨコハマ”。今回も独創性、先進性に富んだ最新の技術・製品や研究成果が展示・発表されます。また、多彩な併催行事も行われます。新製品の発見や新規顧客の開拓、具体的な商談、技術交流、情報収集等の場としてご活用ください。

—開催概要—

- 会期 平成23年2月2日(水)～4日(金) 全3日間
10:00～17:00
- 会場 パシフィコ横浜 展示ホールC・D
- 主催 (財)神奈川産業振興センター (KIP)、
(社)横浜市工業会連合会、神奈川県、横浜市
- 規模 10,000㎡
- 入場料 無料(登録制)
- 展示分野・内容

ビジネスソリューション	ビジネス、オフィスの環境・業務システムに対応したIT機器、製品、装置、サービス、ソフトウェアおよび周辺機器等の展示・実演
生産	工業生産過程(研究-開発-設計-加工-組立-検査)等に関連する機器、製品、装置、部品、材料および周辺機器等の展示・実演
生活・環境	環境・公害・防災・エネルギー・光触媒・バイオおよび福祉問題等を考慮した機器、製品、装置、材料および周辺機器等の展示・実演
異業種交流グループ等/支援機関	工業技術・製品に関連するグループ、支援機関等の出展・PR
産学公連携	産学公連携に関する出展・PR

■併催行事

- 記念講演会
「頑張れ日本の中小企業—中韓印泰越尼に負けない経営—」
日時: 2月2日(水) 13:30～15:30
会場: アネックスホール(展示会場2F)
講師: 橋本久義氏(政策研究大学院大学教授)
- インドビジネスセミナー
「今、インドは～インドビジネスへの誘い～」
日時: 2月3日(木) 13:30～16:30
会場: 会議センター301会議室
- アジアビジネスセミナー～ベトナムの事例を中心に～
「アジアの成長と新たなビジネス展開」
日時: 2月4日(金) 10:00～17:00
会場: アネックスホール(展示会場2F)
*記念講演会・セミナー共通(定員: 200人、費用: 無料)
- 問い合わせ 事業課
☎ 045(633)5170 FAX 045(633)2556
ホームページ
<http://www.tech-yokohama.jp/tech2011/>
E-mail info@tech-yokohama.jp

新ビジネスに取り組む熱き挑戦者のプレゼンを聞きに来てください!

～「かながわビジネスオーディション2011」第2日目に開催～

第15回目を迎えた今回の「かながわビジネスオーディション2011」は、“テクニカルショウヨコハマ2011”と同時開催。当日は、数次の審査を経て選定されたビジネスプラン・アイデアのプレゼンテーションが行われます。

新しいビジネスに果敢に挑む発表者が、皆さまのご来場をお待ちしています。

—開催概要—

- 日時 平成23年2月3日(木) 12:00～19:30
- 会場 パシフィコ横浜 会議センター
開会式・表彰式: 301会議室
プレゼンテーション: 311～314会議室
交流パーティー: 315会議室
- 定員 300人
- 参加費 無料
(交流パーティーは有料。一般3,000円、学生1,000円)

●問い合わせ

- かながわビジネスオーディション実行委員会事務局
(KIP事業化支援部事業推進支援課内)
☎ 045(633)5203 FAX 045(633)5194
ホームページ
<http://kaigi.kipc.or.jp/b-audition/index.html>
E-mail venture@kipc.or.jp

今、この企業に注目

企業インタビューシリーズ ②

業務の効率化に有用な情報機器の販売やソフトウェアの開発・販売に取り組んでいる**ユーコービジネスマシン**（大林俊雄社長）。近年、特に注力しているのが自社開発のソフトウェアです。その顧客開拓に向けて“テクニカルショウヨコハマ”をはじめ、各種展示会に出展しています。そこで、同社の展示会出展のリーダーである大澤 仁業務ソフト技術部長に、テクニカルショウヨコハマへの出展や製品の特徴などについて伺いました。



Q まず、展示会出展の目的からお聞かせください。

製品や企業のPRはもちろん、新規のお客さま開拓に有効、効率的だと考えています。特に“テクニカルショウヨコハマ”は、当社の主要な営業先である京浜地区の来場者の多い点が魅力です。また、お客さまの多くが中小企業である当社にとって、他の出展者と貴重な商談の場が持てる点もメリットといえます。



大澤 仁
業務ソフト技術部長

Q 展示会で何か工夫している点はありますか？

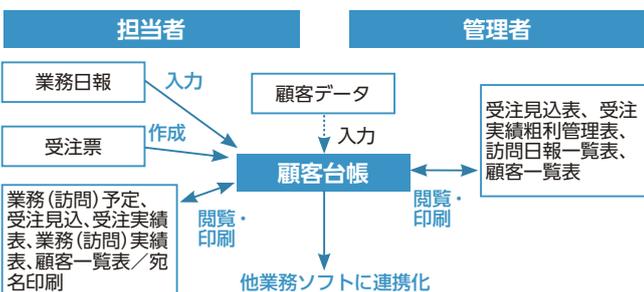
昨年からは技術部中心による運営に変更しました。展示の中心は業務用ソフトウェアなので、お客さまへの説明は、これを開発し、一番よく理解している従業員の方がいいだろうという判断からです。また、毎回出展しているので、社内に展示キットを持ち、自分たちで設営しています。オリジナルのため、他のブースよりは目立っていると思います。

Q 成果の方はいかがですか？

例年、10数件の引合いがあり、その後、数百万円の成約に至っています。ポイントは、ブースでの丁寧な説明やデモンストレーションに加えて、アフターフォローにあります。そこで、効果を発揮しているのが自社開発のソフトウェア「営業活動支援ソフトⅡ」です。



“営業活動の見える化”につながる「ユーコー営業活動支援ソフトⅡ」(左)と業務フロー(右)



Q どのような効果を発揮しているのでしょうか。

来場されたお客さまへのデモの内容や感想なども含め、お客さまの情報をこのソフトウェアに記録し、“営業活動の見える化”を図っています。こうすることで情報を共有化でき、誰もがアフターフォロー可能になります。担当者だけに頼らない、会社としての対応が効率的な営業につながっているのです。

Q そのソフトウェアについて、もう少し教えてください。

これはいわば、“人が動く”管理をするソフトウェアといえます。営業マンが製品を販売する際のサポートツールです。顧客概要や対応状況、受注見込、受注実績、そして業務日報の画面から一目で何が売れるか、何を売ったか、誰が何をしたのかなどがわかるようになっています。顧客や製品アイテム数が少なければ、担当者の記憶や紙による管理でもいいでしょうが、それらが多い場合にはとても便利なソフトウェアです。

Q 他にもどのような製品を取り扱っているのですか？

ソフトウェアでは生産管理や人事管理ソフトの販売、また受託開発を行い、ハードウェアでは主に東芝製のサーバやパソコン、デジタル複合機などを販売しています。40年前の創業時からハードの販売を中心に発展を遂げてきましたが、現在は自社ブランド製品にも力を入れ、ハードとソフトを組み合わせ、1つのシステムとしての提供をめざしています。

Q 最後に、テクニカルショウヨコハマ2011に来場される予定の皆さまに、一言お願いします。

当社のブースは、背景の赤いパネルが目印です。営業の効率化をお考えの皆さま。ぜひテクニカルショウで当社自信のソフトウェアを体感ください。お待ちしております。



ユーコービジネスマシンの展示ブース。背景の赤いパネルが毎回来場者の目を引いている

ユーコービジネスマシン株式会社

所在地 川崎市川崎区渡田2-4-11

☎ 0120(366)323

ホームページ <http://www.yuuko.co.jp/index.html>

●問い合わせ 経営企画室(広報担当) ☎ 045(633)5201

受注量、採算状況ともに改善、上期の経営状況は上向く

～平成22年度 受注企業実態調査結果報告～

この調査は、KIP事業振興部取引振興課に登録している県内受注企業の景気動向を継続的に把握するため、年1回行っているものです。その調査結果を報告します。

◇調査概要

- ・調査期間 平成22年7月～9月
- ・調査対象 県内受注登録企業2,904社
- ・回答企業数 616社
- ・回答率 21.2%

◇調査結果まとめ

今年度の調査結果を見ると、受注量については、「上昇」と回答した企業が33.7%で、昨年度（1.9%）と比較すると、31.8ポイントの大幅な増加になりました。

また、採算状況についても、「上昇」と回答した企業が19.4%で、昨年度（1.1%）と比較すると、18.3ポイント増加しました。

このように今年度上期段階の県内中小企業の経営状況は、上向いていることがうかがえます。

※ 10月の月例経済報告では、「景気は、このところ足踏み状態となっている。また、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある」と、1年8ヵ月ぶりに景気判断を下方修正し、また、11月も同様の判断をしています。

◆受注量について（図1）

「上昇」が前回調査より大幅に増加したのに対し、「低下」は44.4%と前回調査より47ポイント減少。受注環境が大幅に改善しました。

◆採算状況について（図2）

受注量同様、「上昇」が前回調査より増加する一方、「低下」は50.2%と前回調査より37.5ポイント減少。採算状況も大きく好転しました。

◆取引先数の増減について（図3）

回答した企業のなかでは、「横ばい」54.5%（326社）と「減少」27.3%（163社）で全体の8割強を占め、「増加」と回答したのは18.2%（109社）でした。

◆過去1年間に受けた発注企業とのトラブルについて（図4）

回答中、最も多かったのは、「下請代金の支払遅延」33.3%（22件）。次いで「下請代金の減額」15.2%（10件）と支払いに絡むトラブルが多い結果となりました。

◆国際ビジネス展開について（図5）

夏場からの円高を受けて、今回の調査では県内受注企業の「国際ビジネス展開」について、質問してみました。

回答企業の現在の動向や今後の意向等を探ると、「ビジネスパートナーを探したい」が最も多く（46社）、次いで「ビジネスの相手国を広げたい」（38社）、「海外拠点がある」（31社）となりました。

なお、相手国としては中国が最も多く、次いで東南アジアで、アジア諸国への関心が高いことがうかがえます。

図1 受注量の変化

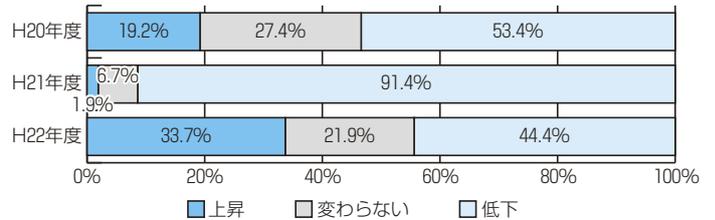


図2 採算状況の変化

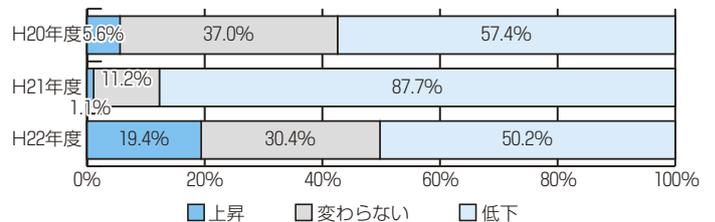


図3 取引先数の変化

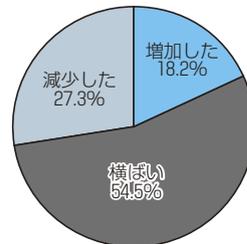


図4 発注企業とのトラブル

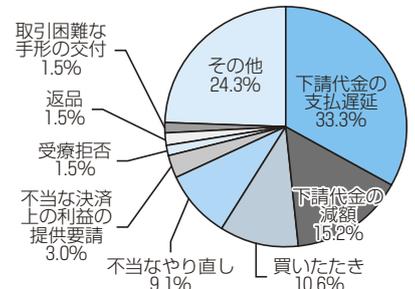
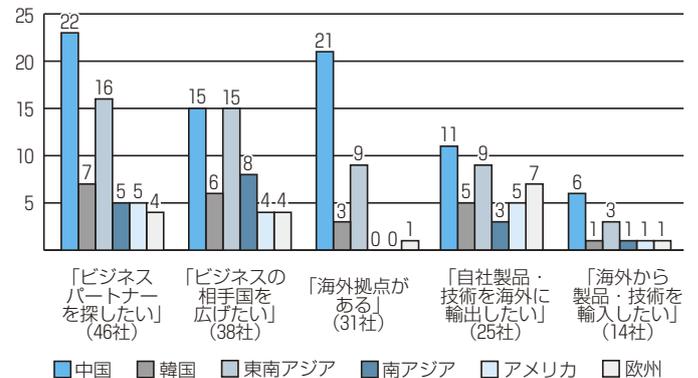


図5 国際ビジネス展開の動向など（複数回答）



●問い合わせ 取引振興課 ☎ 045(633)5067

ベンチャー精神で果敢に挑戦し、さらなる成長・発展へ ～「新現役マッチング支援」事例のご紹介～

電子機器装置・システムの開発・設計・製造を主に手がける日放電子。その高い技術力が評価され、大手企業からの受託開発を中心に事業展開を図っています。そして、さらなる営業力強化、販路開拓のために新現役人材を活用して、新たな事業展開に挑戦しました。同分野を熟知する2人の新現役を迎え、国内・国外への積極的な展開をめざす同社の桐畑幸雄社長に、新現役への期待などを語っていただきました。

新現役の経験と可能性に期待

1973(昭和48)年の創業以来、約40年。その時代ごとに、どのような技術や製品が求められているのか。従業員ともども必死に考え、事業を行ってきました。臨機応変に柔軟な姿勢で取り組んできた結果、技術や製品はとてつもなく広がり、一言で事業内容を表現することは難しいです。



桐畑幸雄社長

そのなかでいくつか製品例をあげれば、無線データ送受信ユニットや放送局向けの自動番組送出システム、周波数シンセサイザー、15GHz帯送・受信機、プラズマ処理装置などです。いずれも業務用で身近なものとはいえませんが、空港等で使用されるペットボトル内液体検査装置の開発も行っています。

技術や製品と同様、人材もその時々状況に合わせて内部・外部にこだわらず、優秀な人材を活用しようと考えてきました。今、重要なことはやはり営業力強化と新たな販路開拓です。これを効率的、効果的に進めるには外部人材だろうと考えていたところに、新現役の制度を知り、マッチングを依頼しました。

続けて2人の新現役を活用

外部人材の活用は、ヘッドハンティングという手法もありますが、多大なコストがかかる反面、それに見合った成果が上がる保証はありません。これに比べると、新現役の制度はマッチングの費用がかからず、気軽に利用できる点も良かったです。

6月にまず、約40年間にわたり電子機器の営業に従事してきた新現役の方と契約を結びました。週に1度、出社してもらい、あとは自ら営業に出向いてもらっています。多様な会社を紹介いただいているのですが、そのなかから11月に開催された国際放送機器展で、当社の送信機と提携先の受信機による共同出展が実現しました。

そして、9月には海外展開の拡大をめざし、もう1人新現役の方を迎え入れました。やはり今後の企業の成長・発展には、海外での販路開拓が絶対条件です。海外営業畑の経験が長く、通信機器に精通している新現役の方にも大いに期待しています。

海外市場にも自信

今、日本のものづくりは全般的に海外との競争により苦戦を強いられていますが、安全性や信頼性が特に求められる業務用製品では、日本製に一日の長があると思います。当社の製品はまさにそうした分野であり、海外でも必ず受け入れられるはずで。

これから2人の新現役の力も借りて、再度、果敢に挑戦していかうと考えています。ベンチャー精神を忘れることなく、人のできないことを何でもやる。そうした精神で取り組み、さらなる成長・発展を続けていきます。

新現役が応援します!

現在、営業のサポートをしています。まずは私の人脈がある会社と共同で、長距離タイプの無線伝送装置の製品化を進めています。私のモットーは、足を使ってたくさんの人と会うことです。多くの方に当社の存在を知ってもらうことに努めています。また、桐畑社長の会社・社員を思う情熱はすばらしく、私も少しでも力になれるよう取り組んでいます。



大河内鉄雄氏

当社の支援に携わり約3ヵ月。この間、海外市場の開拓に向けた第一歩として、製品の英文カタログ等を作成し、これまでの人脈を活かして中南米や中近東、ヨーロッパの国々にアプローチしてきました。海外展開の強化は、今後の当社の売上・業績向上に不可欠です。その期待に応えるべく、私の経験等を十二分に活かしていきたいと考えています。



垣村信一氏

株式会社日放電子

本社 / 東京都千代田区神田小川町2-12-1 信愛ビル
☎ 03(3291)1981
アドバンステクニカルスタジオ /
川崎市麻生区南黒川8-1 ☎ 044(989)9111
ホームページ <http://www.nippoe.co.jp/>

==== 中小企業応援センターINFORMATION ====

「転業チャレンジ特別相談窓口」(事前予約制)を設置!

中小企業応援センターでは、中小・小規模企業経営者の皆さまの転業チャレンジを支援するための「特別相談窓口」を設置します。

転業に関する心構えや成功手法、転業後の経営課題克服法など、幅広い相談に対応し、きめ細かな支援を実施します。

日時、会場等については、直接中小企業応援センターまでお問い合わせください。

皆さまのご利用をお待ちしています。

●お問い合わせ 中小企業応援センター

☎ 045(633)5182 FAX 045(633)5208

ホームページ <http://kaigi.kipc.or.jp/ouen-center/>

“まちなか市場”で地元を元気に、若手商業者たちの挑戦は続く

～小田原 緑一番街商店会／ほっとファイブタウン＜後編＞～

商店街、まちの活性化に向けて、昨年10月にスタートした「小田原まちなか市場」。運営する地元の若手商業者たちのがんばりにより、住民にも根づきつつあり、地元産品への期待も高まっています。この市場をさらに発展させるため、1つひとつの課題に取り組む若手商業者たち。今後は定期開催や常設の市場も視野に入れ、“地産地消”による地域のイメージアップをめざしています。

出店者の成功体験を重ね、市場の拡大をめざす

約1年が経過したなかで、いくつかの課題が見えてきた「小田原まちなか市場」。その1つが運営費である。会場賃料や保険料、広告宣伝費等で1回約5万円を見込むが、出店料は市場のタイプにより500～2,000円のため、これまでのように10数ブースの出店でも総費用はカバーできない。そうなると運営側が利益を出せるブースが必要になる。

運営側ではその対策として、「小田原産の芋や栗を用いた壺焼き芋、焼き栗の実演販売など、地元の生産物・加工品の販売に力を入れていきます」（実行委員会の平井義人代表）としている。こうした会場で食べられる商品の販売は、来場者のニーズにもかなっている。

そして、次の課題が出店者・商品の広がりである。出店者を固定してしまうと、どうしても新鮮さがなくなってしまうため、常に新規出店者の開拓が求められる。一方、既存出店者も継続していくためには、売上を上げていかなければならない。特に、生産農家では商品単価が低く、売上を上げるのがきつい。そこで、運営側では単価を上げるために、「野菜スープや五平餅などを作り、単価を上げてみてはどうですか」（平井代表）と農家にアドバイスしている。

新規出店者については、この市場を見て数店の出店希望者が出てきたが、運営側ではまだ出店余地もあり、不十分と見ている。今年度はある程度の年間計画を立てて開催しているが、定期的とまでは至っていない。定期開催ができ、認知度が上げればさらに来場者が増え、出店者の売上向上、それに伴う新規出店者の増加と好循環につながるだろう。いずれにしてもいかに出店者に成功体験を積みせられるかがポイントといえそうだ。そうした成功体験が周囲の意識も変えていく。

さらに、組織の課題もあげられる。「市場でアピールしたいのは、地元こだわった“小田原スタイル”の商品。売上はほしいが、コンセプトに合わない商品は売りたいわけではない。ただ商店街の立場では、それに徹しきれず、不安があります。市場のスタイル、コンセプトを貫くには、第三者的な立場として会社組織が必要ではと考えています」（平井代表）。

会社を作り、定期開催から常設へと市場のステップアップを図り、ブランド化する。実行委員会がめざす姿である。

緑一番街商店会（平井書店）

所在地 小田原市栄町1-16-29

☎ 0465(22)5370

ホームページ（上：緑一番街商店会、下：H5T）

<http://1st.geocities.jp/midoriichiban/index.html>

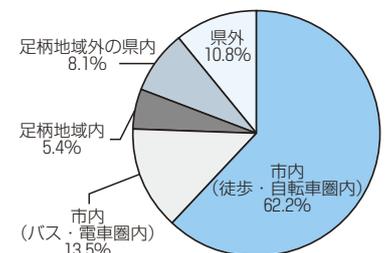
<http://www.hot5town.com/>

「小田原まちなか市場」アンケート調査結果から （7/24・25実施、回答数74）

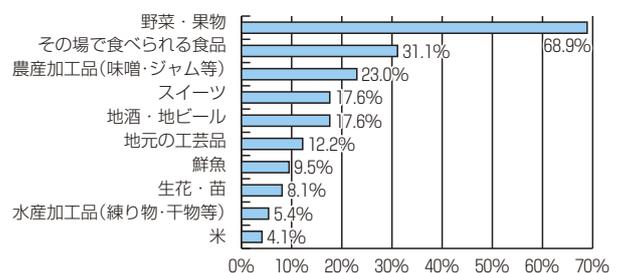


小田原まちなか市場
実行委員会の平井義人代表

◆来場者の住まい

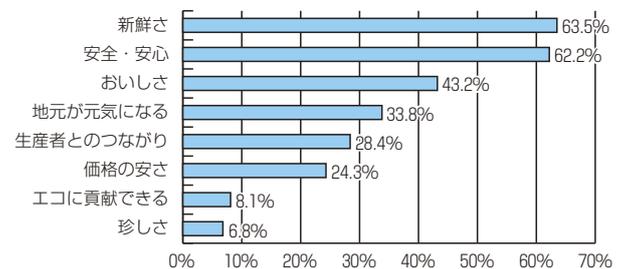


◆市場で関心のある（ほしい）もの（複数回答）



◆「地産地消」のイメージ・期待すること

（複数回答）



◆来場者の感想・意見

「すばらしい企画だと思います。地元が元気になる起点の1つになってほしいです」

「旬のものが食べられ、楽しみです。回数を増やしてください」

「地元の品物（特に食品）に興味があるので、面白いイベントだと思います」



中小企業の皆さまの経営上の課題を解決します！

～“サポートかながわ”誌上相談⑮～

KIPの経営総合相談室に寄せられた相談のなかから、皆さまの参考になるものをご紹介します。
今回は、旅館業を営む方からの相談です。

Q 旅館の経営者が今後取り組むべき点を教えてください

県内の観光地で旅館を営んでいます。先代の実父が50年間にわたり社長を務めてきましたが、2年前に他界してしまいました。

後継として長男の私が社長に就任しましたが、この2年間は女将である妻とともに試行錯誤を続けています。実は生前の先代は誰にも経営ノウハウを伝えてこなかったため、集客が伸び悩み、売上が減少している状況なのです。

この状況を打開するために、旅館の集客を高める方法や経営資源の活用方法など、今後の生き残りをかけ、旅館の経営者として取り組まなければならない点について、アドバイスをお願いします。

A 今後はソフト・ヒューマンウェアの確立で集客向上を

まず、業績悪化の原因を正確に把握する必要があります。そして、その改善は経営者と従業員が一体となって取り組

まないと成功しません。従業員の協力が不可欠なので、もし従業員との間に問題があるならば、これを解決する必要があります。

次に、旅館経営の基礎知識として経営者に理解してほしい必要事項が、旅館のブランドを支えるハードウェア、ソフトウェア、ヒューマンウェアです。

このなかでハードウェアの改修には大きな投資が必要になります。日本の旅館業の多くは、過去のハードウェアの改修・増築が集客の維持・向上につながってきたと思込

んでいますが、現在、そして今後はそうならないでしょう。それよりも投資は必要最低限に抑え、ソフトウェア（効率的な業務システム）やヒューマンウェア（人的なサービス）の確立が、集客の向上には肝要です。

いずれにしても短期では解決が難しいため、専門的な経営アドバイスを受けながら、ある程度時間をかけて取り組むことをおすすめします。

●問い合わせ 経営総合相談室 ☎ 045(633)5200

下請法 早わかり 第11回

今回は、下請事業者の利益が不当に害されることを防止するための、「不当な経済上の利益の提供要請の禁止」について、ご紹介します。

第4条第2項（親事業者の遵守事項）

親事業者は、下請事業者に対し製造委託等をした場合は、次の各号に掲げる行為をすることによって、下請事業者の利益を不当に害してはならない。

第3号（不当な経済上の利益の提供要請の禁止）

自己のために金銭、役務その他の経済上の利益を提供させること。

◆下請事業者の利益を不当に害するとは？

下請事業者による“経済上の利益”の提供が、下請事業者の直接の利益になる（提供による利益が不利益を上回る）ことを親事業者が明確にしなくてはなりません。

なお、親事業者が虚偽の数字を示して提供させる場合も下請事業者の利益を不当に害することになります。

◆金銭、役務その他の経済上の利益とは？

協賛金、従業員の派遣等の名目に関係なく、下請代金の支払いは独立して行われる金銭の提供、作業への労務の提供等がこの経済上の利益に該当します。

◆知的財産権の譲渡について

プログラムなど情報成果物等の作成で下請事業者に知的財産権が発生し、下請事業者への給付内容にこれを含まない場合、この知的財産権を情報成果物等の作成目的である使用範囲を超えて、親事業者に無償で譲渡・許諾させると当条項に該当します。

次のような行為は、違反行為と見なされます！

●親事業者による決算対策のための協賛金要請

協賛金の具体的な目的やその算出根拠の説明に関わりなく、親事業者から決算対策のための協賛金を提供させられた場合。

●発注内容にない労務提供

ソフトウェアの作成を受託している下請事業者の従業員が、親事業者の事業所に常駐し、実際にはその下請事業者への発注とは無関係の事務を行っている場合。

●発注内容にない設計図等の譲渡

金型の製造を受託している下請事業者が作成した金型の図面、加工データ等を、親事業者が海外で金型を製造するため、対価を支払わずに提出させられる場合。

●問い合わせ

下請かけこみ寺（経営総合相談室内） ☎ 045(633)5200

タイで進む現地人材育成の取組み

シンガポール駐在員 山本祐輔

ASEAN加盟国で有数の経済力を誇るタイは、投資環境が整い、日系企業が集積していることで知られています。そのタイでは、日系企業で活躍できるような現地人材を育成することに特化した大学「泰日工業大学」が設立されるなど、さらなる先進的な取組みが始められています。

今回は、泰日工業大学と現地での人材育成についてご紹介します。

■ 現地人材確保の必要性

タイは、道路・港湾・工業団地などの社会資本が整備されているほか、政府（タイ投資委員会：BOI）による企業への進出支援策が充実しているなど、ハード・ソフトの両面で投資環境が整っていることで知られています。

そのため日本企業が数多く進出し、その数は盤谷（バンコク）日本人商工会議所に加盟している企業だけでも1,317社に上ります。企業の集積がさらに外国企業を引き付けるといふ好循環を作り出しているといえるでしょう。

このように投資環境の整っているタイですが、国際協力銀行（JBIC）が昨年11月に行った「わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告」によると、タイの投資環境の課題として、104社のうち31社（29.8%）が「管理職クラスの人材確保が困難」、17社（16.3%）が「技術系人材の確保が困難」と回答しています。

管理職・技術系の人材を日本から派遣している企業も多いと思われませんが、現地の考え方を熟知するタイ人管理職がいれば、日本人よりもスムーズに現地スタッフをマネジメントすることが期待できますし、何よりも日本人駐在員を配置する人件費を節減することができます。現地人材の育成は、進出している日系企業にとって重要な課題といえるでしょう。

■ 泰日工業大学の開学

このような背景から在タイ日系企業で活躍できるエンジニア・管理職の育成と、タイの産業、経済、社会への貢献を目的とした私立大学「泰日工業大学」が2007年6月に設立されました。

設立の母体となったのは、日本の日・タイ経済協力協会（JTECS）とタイの泰日経済技術振興協会（TPA）で、両協会とも1970年代から日本とタイの間での経済協力や人材育成に取り組んできた団体です。

同校の水谷光一専任講師によると、「当校では約2,700人の学生が自動車工学、生産工学、ビジネス経営などを日本語で学んでいます。日本式『ものづくり』に関する教育を重視しているため、理論だけでなく実技や企業の製造現場での実習を必修にしているのも大きな特徴」とのことです。

同校の取組みに対しては、盤谷（バンコク）日本人商工会議所も期待を寄せ、会員企業とともに2006年からの4年間で約9,700万円の奨学金を提供しているほか、実習生の受入れを会員企業に呼びかけるなどの支援を行っています。



バンコクに設立された泰日工業大学の校舎

■ 現地進出企業の声

2002年にタイに現地法人を設立し、産業機械の設計などを行っているアース機械設計（本社：秦野市）の笠島良一社長は、泰日工業大学や現地での人材育成について次のように語っています。

「エンジニアや幹部候補生の人材確保、業務の現地化は弊社にとっても非常に重要な課題ですから、泰日工業大学の取組みには非常に期待しています。その一方で、採用後の人材育成と定着も重要だと考えています。現地人材の育成は大変な面もありますが、弊社では粘り強くOJTを行うことや、実際に彼らに仕事を任せることにより、弊社でしか得られない知識・経験があるとキャリア意識を持たせるよう心がけ、人材の育成を行っています。実際に弊社では、私がタイ法人の社長を兼務しているほか、社員10人全員がタイ人です。業務面でも秦野本社で機械の基本設計を行い、詳細設計をタイ人スタッフが行うなど、日本とタイのスタッフが1つのチームとなり、仕事をしています」。

泰日工業大学のように優秀な人材を供給する取組みとともに、企業側での人材育成も非常に重要といえるでしょう。

■ 期待される卒業生の進路

今年度、泰日工業大学の学生約100人が日系企業の現場で実習しましたが、実習生の受入企業の約70%が「ぜひ卒業生を採用したい」と回答したそうです。2011年に卒業する第1期生の活躍が期待されるそうです。

同校の取組みが成功し、日系企業への現地人材の登用・定着が進めば、タイの投資環境は日本企業にとってさらに魅力的なものになるでしょう。

県とKIPでは、展示会出展などを通じて、タイなどASEANへの県内企業の販路拡大・拠点設立を支援していく予定です。海外への事業展開に関心のある県内企業の方々はぜひご相談ください。

● 問い合わせ

県産業立地課国際ビジネスグループ ☎ 045(210)5565、5567

明日をになう独創技術は神奈川から

～「第27回神奈川工業技術開発大賞」受賞企業の紹介～

県内の中堅・中小企業が開発した優れた技術・製品に贈る「神奈川工業技術開発大賞」。
第27回の受賞企業が決定し、その表彰式が10月29日（金）、県庁本庁舎大会議場で松沢知事、
堀田神奈川新聞社社長の出席のもと、執り行われました。

「神奈川工業技術開発大賞」は、昭和59年の創設以来、県と神奈川新聞社との共催で、県内の中堅・中小企業が開発した優れた技術・製品を毎年、表彰してきました。

今回、応募のあった技術・製品は36件。そのなかから8月12日（木）の選考委員会（委員長：横浜国立大学名誉教授・関口 隆氏）で7件が選考され、特に優れた技術等を大賞（2件）に、環境保全、省資源等に優れた技術等を地域環境技術賞（2件）に、また優れた技術等を奨励賞（3件）に決定しました。

受賞した7件の技術・製品、企業をご紹介します。



「第27回神奈川工業技術開発大賞」表彰式での受賞者の皆さま

－受賞技術・製品と企業の紹介－

大賞

空気中で計測可能な 非接触超音波探傷システム ジャンププローブ(株)

◆受賞技術

超音波を空気中で投射しても、検査対象内部の欠陥状況を高速で画像化し、1mmの欠陥を判別できる非破壊評価システムを開発しました。

◆会社概要

所在地 横浜市南区中村町1-1-14

☎ 045(242)0531

ホームページ <http://www.jp-probe.com/>

主な事業内容 超音波検知器、超音波発振器・受信器、検査システムの開発・設計・製造・販売など



アルミニウム合金への ダイヤモンドライク カーボンコーティング技術 (株)不二WPC

◆受賞技術

自動車部品などに利用されるアルミニウム合金に独自技術の表面改質を行うことで、ダイヤモンドライクカーボン（DLC）膜によるコーティングを可能にし、自動車部品の低摩擦化に成功しました。

◆会社概要

所在地 相模原市南区大野台4-1-83

☎ 042(707)0776

ホームページ <http://www.fujiwpc.co.jp/>

主な事業内容 WPC処理®の受託加工、WPC処理装置の販売、DLCコーティングの受託加工



受賞技術・製品と企業の紹介 ＜地域環境技術賞＞

植物の生育促進に適したLED照明器 (株)キーストーンテクノロジー

◆受賞技術

LED（発光ダイオード）照明器を制御することで、生育の段階ごとに光波長の組合せをコントロールする、植物工場などで利用できる省電力植物栽培用光源を開発しました。

◆会社概要

所在地 横浜市中区太田町5-68-5 明和ビル2F
☎ 045(222)3117

ホームページ <http://www.keystone-tech.co.jp/>

主な事業内容

植物栽培用のLED照明器
の開発・製造・販売、電子
応用機器の受託



リサイクル可能で交換式の ワイヤー放電加工機用ろ過フィルター 東海工業(株)

◆受賞技術

リサイクル可能で交換式のワイヤー放電加工機用ろ過フィルターを開発しました。従来の使い捨て型フィルターに比べて、廃棄物が削減され、コストが大幅に低下しました。

◆会社概要

所在地 厚木市妻田東3-32-15
☎ 046(222)9308

ホームページ <http://www.tokai-filter.co.jp/>

主な事業内容

放電加工用、産業用フィルターの製造・販売・開発



受賞技術・製品と企業の紹介 ＜奨励賞＞

グラファイト製保温板を備えた 連続アルミろう付炉 関東冶金工業(株)

◆受賞技術

アルミ製部品の接合に利用されている、ろう付炉の保温板（保護容器）をグラファイト製にすることで、炉内の酸素濃度を低減し、ろう付不良、炉内汚染を防止し、炉内温度の制御向上を実現しました。

◆会社概要

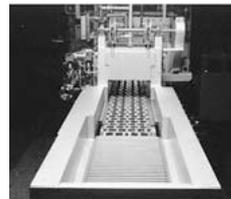
所在地 平塚市四之宮3-20-48
☎ 0463(55)5120

ホームページ

<http://www.k-y-k.co.jp/>

主な事業内容

熱処理設備の開発・設計



自律神経反射の即時解析モニター (株)クロスウェル

◆受賞技術

心拍変動の周波数解析や時間領域解析をリアルタイムで行うことで、自律神経の変化をリアルタイムに表示し、自律神経の反応を可視化することに成功しました。

◆会社概要

所在地 横浜市西区岡野1-15-9-301
☎ 045(312)9301

ホームページ

<http://crosswell.jp/>

主な事業内容

疾病の早期発見（二次予防）と生活習慣の改善（一次予防）をサポートする機器・システムの開発



リチウムイオン電池電極用金属箔の ロール成形装置 昭和精工(株)

◆受賞技術

成形ロールに金属箔を押し当てることで孔を開ける、高速で信頼性の高い加工により、リチウムイオン電池などに利用できる安価な電極箔を提供する技術です。

◆会社概要

所在地 横浜市金沢区福浦1-4-2
☎ 045(785)1111

ホームページ

<http://www.showa-seiko.co.jp/>

主な事業内容

精密プレス金型、精密工具、
自動機の開発・販売



●問い合わせ

技術支援推進部開発支援室 ☎ 046(236)1500

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kogyo/taisyo/index.html>

世界ブランドをめざした若手職人グループへの支援 ～「戦略的商品開発支援事業」の取り組み～

中小企業の売れる商品・ブランドづくりを支援するため、マーケティング、新商品開発、新市場開拓、商品化・ブランド化について、お客さま満足度の視点に立ってデザインを戦略的に活用した支援を行うのが「戦略的商品開発支援事業」です。

産技センターが技術や開発支援を、KIPがマーケティングや販路拡大支援を担っています。

平成20～21年度は、箱根寄木細工の若手職人グループ「雑木囃子」に対して、有名工業デザイナーの直接指導によるブランド化支援を行いました。その概要をご紹介します。

実践的指導でデザイン性に優れた商品開発

日本を代表する工業デザイナー喜多俊之氏を招聘し、商品としてより完成度を高めるため、雑木囃子への直接指導会を、2年間で8回開催しました。

指導内容は、造形面の美しさはもちろんのこと、ターゲット設定や使うシーンの明確化、使い勝手やコスト・量産に関する生産性を考えたものづくりにまでおよび、喜多氏は世界に目を向けた視野の広さと発想の豊かさが大切であることを強調されていました。

また、支援の集大成として、今年の6月に開催された国際見本市「インテリア・ライフスタイル東京」へ出展するため、喜多氏に出展商品の選定から展示方法のアドバイス、展示ブースの装飾設計、カタログのデザインまでを総合的にプロデュースしていただきました。喜多氏の指導は、販売するためのプロモーションの重要性を痛感させるものとなりました。



国際見本市「インテリア・ライフスタイル東京」での「脱観光土産品」をめざした斬新な展示ブース



喜多氏（写真左から4人目）と「雑木囃子」のメンバー



「雑木囃子」6人の製品を紹介したカタログ

「全国木のクラフトコンペ」で 金賞に輝いた2作品



玉手箱「Stream」



寄木サイドテーブル

若い力の可能性と産地としての課題

今回の支援事業を通じ、毎年、木を主要素材とした作品を全国から募っている「全国木のクラフトコンペ」において写真の2点の金賞をはじめ、全員が入賞するなど、世界観を持った「雑木囃子」の若い力が今後ブランドとなり、木製品業界の牽引者になることを期待できました。

展示会では多くの反響がありましたが、彼らには産業として成り立つための生産体制が不足しています。産地としての応援体制など、若い力を発揮できる環境づくりが急務の課題であるといえそうです。

●問い合わせ

企画部戦略的デザイン室 ☎ 046(236)1500

環境にやさしい“リサイクル認定製品”をご利用ください!

～「かながわりサイクル認定製品」として14製品を初認定～

県では、今年度新たに廃棄物を原材料としたリサイクル製品を“かながわりサイクル製品”として認定し、それらの製品の利用の促進を図る「かながわりサイクル製品認定制度」を創設しました。この度初めて7事業者14製品を認定。今後、それらの製品を積極的にPRしていきます。皆さまも環境にやさしいこれらの製品を、ぜひご利用ください。

また、これからも毎年リサイクル製品の募集を行っていきます。多くの事業者の皆さまのご応募をお待ちしています。事前相談は随時行っていますので、お気軽にご相談ください。

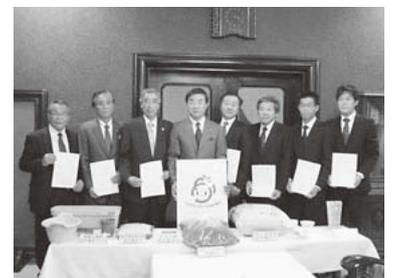
◆初めて認定された「かながわりサイクル認定製品」一覧

認定番号	事業者名	所在地	認定品目	製品名等
1～6	南開工業(株)	南足柄市	園芸用品	ジョロペット他5製品
7	横浜環境保全(株)	横浜市中区	堆肥	ハマのありが堆肥
8	ナカノ(株)	横浜市南区	作業手袋	よみがえり よみがあ〜る
9	(有)開成グリーン リサイクルセンター	足柄上郡開成町	堆肥	エコ・堆・開成
10	(株)三凌商事	東京都町田市	堆肥	サンリョウ有機
11～13	(株)おぎそ	岐阜県土岐市	食器類	リサイクル高強度磁器 食器OGISO
14	(株)二見	小田原市	肥料	健やかファーム

※認定製品の詳細は、県資源循環課「かながわりサイクル製品認定制度」ホームページをご覧ください。



認定マーク
認定製品には認定マークを付けて販売することができます。



10月19日(火)、県庁で行われた認定証交付式の様子(松沢知事を囲む認定事業者7社の皆さま)

●問い合わせ 県資源循環課リサイクルグループ ☎ 045(210)4151

ホームページ

KIP国際
ビジネス
支援研修

海外進出その前に、販売店契約のイロハ教えます!

～「海外における販売店契約の注意点セミナー」のご案内～

海外進出でまず頭を悩ますのが契約の問題。契約の重要性は認識しているが、その実態や内容、手法など詳細はわからないのが実情ではないでしょうか? KIPでは、中小企業の皆さまのスムーズな海外進出と進出後の法的トラブルを避けるために、特に販売店契約の際の注意点などを国際取引に精通した弁護士の視点から解説していただくセミナーを開催します。海外進出を検討中の中小企業の皆さま。ぜひご参加ください。

□日時 平成23年1月21日(金) 14:00～16:00

□会場 神奈川中小企業センタービル 13F第3会議室

□内容 ①販売店契約(Distribution Agreement)

②国際取引上での販売店契約の注意点

③質疑応答

□講師 小島国際法律事務所 弁護士 菊池 毅氏

〈講師プロフィール〉

1992年弁護士登録。小島国際法律事務所にて国際・国内訴訟、知的財産権、国際商取引、国際・国内破産、一般企業法務等に携わる。2000年1月より小島国際法律事務所パートナーとして活躍中。

□定員 30人(申込先着順)

□費用 KIP会会員 3,000円、一般 5,000円

□申し込み ホームページから直接または申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。

●問い合わせ 事業課

☎ 045(633)5170 FAX 045(633)2556

ホームページ <http://www.kipc.or.jp/>

15万人の方々のご来場により、 両大会とも大盛会でした!

～技能ルネッサンス! かながわ2010 (第48回技能五輪全国大会・第32回全国障害者技能競技大会) 開催～

神奈川県で初めての「技能ルネッサンス! かながわ2010」(第48回技能五輪全国大会・第32回全国障害者技能競技大会)が、10月15日(金)～25日(月)にかけて開催されました。

両大会には15万人の方々にご来場いただき、大盛会のうちに閉幕。来場者の方々には、技能のすばらしさや大切さを実感していただきました。

第48回技能五輪全国大会

開閉会式はパシフィコ横浜国立大ホールで、競技はパシフィコ横浜、県立東部総合職業技術校など9会場で開催されました。各都道府県から選りすぐられた23歳以下の青年技能者たち1,028人がメカトロニクス、旋盤、自動車板金、家具、電気、洋裁、日本料理、理容、ウェブデザイン、フラワー装飾など39職種で、技能レベルの日本一を競い合いました。各会場とも多くの見学者が訪れ、選手たちが繰り広げる躍動感あふれる姿に感動していました。

さて、県からは32職種124人が参加。そのうち受賞者は金賞4人、銀賞8人、銅賞11人、敢闘賞16人の計39人で過去最高のものとなりました。あわせて神奈川県選手団は、優秀技能選手団賞も受賞しました。

また同時に、併催イベントがパシフィコ横浜など4会場で行われました。パシフィコ横浜では、電気自動車の展示、リアモーターカーやセグウェイの試乗、県立の工業・農業高校生による「サンドブラスト」や「コサージュ」作り、2010かながわ技能フェスティバルとして開催された熟練技能士による「技能コンクール」や大工仕事体験などの「ものづくり体験教室」が行われ、多くの見学者がものづくりに触れる機会を楽しんでいました。



「とび」競技の様子



「家具」競技の様子



「理容」の表彰式の様子

第48回技能五輪全国大会 神奈川県選手入賞者

18職種39人(参加総数32職種124人)(敬称略)

職種名	賞	氏名	所属事業所名
機械組立て	敢闘賞	首藤 俊大	(株)東芝
精密機器組立て	銅賞	水 沼 宏 光	日立オートモティブシステムズ (株)厚木事業所
		近 藤 一 哉	
機械製図	銅賞	杉谷 章宏	日産自動車(株)
	敢闘賞	増山 雅彦	
フライス盤	敢闘賞	石本 直也	日産自動車(株)
電気溶接	敢闘賞	今野 貴大	三菱重工業(株)原動機事業本部 横浜製作所
		白石 祥元	
		有田 尚人	
自動車板金	銀賞	有田 尚人	日産自動車(株)
	銅賞	新名 尚隆	
電子機器組立て	金賞	松浦 脩人	日産自動車(株)
電気	金賞	關 力也	(株)関電工 神奈川支店
	敢闘賞	廣江 誠	
家具	銅賞	秋山 大	(有)秋山木工
		松浦 尚見	
	敢闘賞	昔農 歩 上村 将志	
貴金属装身具	敢闘賞	原田 雅洋	日本宝飾クラフト学院 横浜教室
フラワー装飾	敢闘賞	杉山 遥	フラワー装飾技能検定神奈川県協 議会
		宮崎 薫	
美容	敢闘賞	大栄 美希	(株)横浜ハーベスト
理容	金賞	手塚 健太	MAXIM NAKAI
	銀賞	吉田 薫平	カットショップ ヨシダ
	銅賞	伊藤 星太	(株)玄
		星 涼馬	MEN'S BEAUTY USAMI
	敢闘賞	瀬川 耕介	(株)玄
自動車工	金賞	武田 将大	日産自動車(株)
	銀賞	中西 秀一	
	銅賞	村口 正宜	
	敢闘賞	横内 勇人	
西洋料理	銀賞	杉田 竜也	(社)全日本司厨士協会 関東総合 地方本部 神奈川県本部
	敢闘賞	箱崎 大河	国際フード製菓専門学校
造園※	銀賞	広井 勲	(有)ガーデンコナガヤ
		辛島 渉平	日本ガーデンデザイン専門学校
レストラン サービス	銀賞	吉田 樹代	相鉄ホテル(株)横浜ベイシエラ トンホテル&タワーズ
		奥井 梓穂	横浜国際ホテル
	敢闘賞	須田 瑛子	相鉄ホテル(株)横浜ベイシエラ トンホテル&タワーズ
ウェブデザイン	銅賞	高山 修平	(学)岩崎学園 情報科学専門学校
		丸山由紀子	総合学園ヒューマンアカデミー 横浜校

※造園職種は2人1組で競技を実施。

第32回全国障害者技能競技大会

開閉会式は横浜ラポールで、競技は横浜アリーナで開催されました。各都道府県代表267人の選手たちが、製品パッキング、家具、フラワーアレンジメント、ビルクリーニング、パソコンデータ入力、喫茶サービスなど22種目で、日ごろ職場等で培った技能を競い合い、見学者は選手たちが真剣に取り組む姿と巧みな技に見入っていました。



「フラワーアレンジメント」競技の様子

県からは19種目20人の選手が参加。金賞2人、銀賞4人、銅賞3人、努力賞1人の計10人が受賞し、過去最高の受賞者数になりました。

また同時に、「障害者ワークフェア2010」が開催され、障害者の皆さまが働くための必要な知識、技能・技術の習得の支援や就職支援の相談ブースなど150を超える企業・団体が出展し、多くの見学者でにぎわっていました。

第32回全国障害者技能競技大会 神奈川県選手入賞者 10種目10人（参加総数19種目20人）（敬称略）

種目名	賞	氏名	勤務先等
家具	金賞	山本 嘉則	相模装備(株)
ビルクリーニング		川端 貴之	(株)シンソウ
義肢	銀賞	金子有希夫	(有)木村義肢工作研究所
パソコン組立		神保 康正	富士ソフト企画(株)
フラワーアレンジメント		早坂 美紀	神奈川県立茅ヶ崎養護学校
製品パッキング		中曽根 渉	山武フレンドリー(株)
歯科技工	銅賞	柳本 佑	(有)ケイ・ワークス
コンピュータプログラミング		田中 卓也	神奈川県障害者職業能力開発校
パソコン操作		瀧 康寛	CML, LLC
喫茶サービス	努力賞	岩下 愛子	ふれあいヘルシーレストラン あい

●問い合わせ 県技能振興・全国技能大会推進課

☎ 045(633)5407

ホームページ <http://ginou-kanagawa.com/>

第8回神奈川県障害者技能競技大会 (アビリンピック神奈川2010) 開催!

障害のある方々の職業能力の向上、また社会の理解と認識を深め、積極的な社会参加と雇用の促進を図ることを目的として、県障害者技能競技大会を開催します。ぜひご来場ください。

【大会概要】

開催日：平成23年1月22日(土)

会場：神奈川県障害者職業能力開発校

競技種目：DTP、ビルクリーニングなど、全13種目

●問い合わせ 県技能振興・全国技能大会推進課

☎ 045(633)5407 FAX 045(633)5442

クチコミ満載の新サイトで 神奈川の魅力を見つけてください!

～県観光情報ホームページ「かなたび」サイトオープン～

県では、9月15日(水)、インターネット上に県観光情報サイト「クチコミが頼りになる神奈川県の旅マガジン『かなたび』」サイト (<http://www.kanatabi.jp/>) をオープンしました。

このサイトは、独自の取材により構成した特集ガイド記事をメインコンテンツに、記事に沿ったおすすめの見学スポットの情報や編集スタッフによる取材ごぼれ話コーナー(かなたび君が行く)等で構成されています。

また、県内の観光スポットのクチコミ情報については、旅行情報サイト「じゃらんnet」との連携により、多様なクチコミ情報の閲覧・投稿を行うこともできます。

さらに、地区別の観光スポットや注目のイベントなども知ることができ、神奈川を観光するにはとても便利なサイトです。

年末年始のお休みには、「かなたび」でお気に入りの観光スポットをチェックして、お出かけください。



サイトのイメージキャラクター「かなたび君」(画像上)と「かなたび」トップページ(右)



●問い合わせ

県観光課観光

プロモーショングループ

☎ 045(210)5767

ホームページ

<http://www.kanatabi.jp/>

必ずチェック最低賃金！ 使用者も労働者も ～神奈川県最低賃金改正のお知らせ～

県内すべての事業所に適用される神奈川県最低賃金が10月に改正されました。
また、12月には電気機械器具製造業など7業種に適用される特定（産業別）最低賃金も改正されます。
なお、特定（産業別）最低賃金については、適用除外（*）があります。ご注意ください。

最低賃金件名		改定額 (時間額)	効力発生 年月日
神奈川県最低賃金		818円	平成22年 10月21日
特定最低賃金	塗料製造業	865円	平成22年 12月20日
	鉄鋼業	851円	
	※非鉄金属製造業	821円	
	※一般機械器具 製造業	844円	
	※電気機械器具 製造業	836円	
	輸送用機械器具 製造業	839円	
	自動車小売業	836円	

※は略称。正式名称はホームページをご参照ください。

* 特定（産業別）最低賃金適用除外者

- ・18歳未満または65歳以上の者
- ・雇入れ後6ヵ月未満（ただし、自動車小売業については3ヵ月未満）の者であって、技能習得中の者
- ・清掃、片付けその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者 等
- ※ 適用除外者は、神奈川県最低賃金が適用されます。

●問い合わせ

- ・神奈川県労働局労働基準部賃金課 ☎ 045(211)7354
ホームページ <http://www.kana-rou.go.jp/>
- ・県内最寄りの労働基準監督署
- ・県労政福祉課労政グループ ☎ 045(210)5739

従業員の能力向上をお手伝いします！

～スキルアップセミナーのご案内～

東部総合職業技術校と平塚・秦野両高等職業技術校では、平成23年1月、2月の両月、主に在職中の方を対象に、次のセミナーを開催します。

従業員のスキルアップや新たな技術の習得に、ぜひご活用ください。

セミナーNo.	セミナー名	日程	時間	定員	受講料	申込期限	会場・申し込み先
106	研削といし特別教育（自由研削）	1/27、28	8:50～16:10	10	1,500円	12/22	東部総合職業技術校
114	2次元CAD活用技術（機械）	1/19、21、26、28	18:00～21:10	10	1,500円	12/16	
122	3次元CAD活用技術（機械）	2/2、9	8:50～16:10	10	1,500円	12/27	
210	アーク溶接特別教育	1/24、25、27、28	8:50～16:10	20	3,000円	12/20	平塚高等職業技術校
307	第二種電気工事士試験基礎講習	2/3、4、7、8	8:50～16:10	20	3,000円	12/24	秦野高等職業技術校
616	レンガの積み方	1/31、2/1	8:50～16:10	10	1,500円	12/22	東部総合職業技術校

※ 往復はがきに郵便番号・住所・氏名・電話番号と、セミナーNo.・セミナー名（日程）、昼間の連絡先、在職職種・経歴年数を明記し、各校へ直接お申し込みください（申込期限必着）。

なお、いずれもテキスト代等の実費は自己負担となります。詳細はホームページをご覧ください。

●申し込み・問い合わせ 各校へ直接お問い合わせください。

東部総合職業技術校 〒230-0034 横浜市鶴見区寛政町28-2 ☎ 045(504)3101

平塚高等職業技術校 〒254-0016 平塚市東八幡4-19-4 ☎ 0463(23)1922

秦野高等職業技術校 〒257-0031 秦野市曾屋1210 ☎ 0463(81)0870

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sangyojinzai/sangyojinzai/seminar/index.html>

“神奈川県産品” 展示・商談会を開催!

神奈川県に根ざした産業の活性化を図るため、県内の事業者とバイヤーの皆さまのマッチングの場として、展示・商談会を開催します。県内で製造・生産された商品を扱う選りすぐりの約50社が集結します。県産の隠れた逸品と出会うチャンスです。ぜひ、ご参加ください。

※ この展示・商談会は、かながわビジネス・アンテナショップ事業の一環として開催します。

■日時 平成23年1月11日(火) 12:00～17:00

■会場 東京都立産業貿易センター浜松町館 4F展示室

* パネルディスカッション「神奈川県産品 都内拡販のツボ」も開催。カリスマバイヤーが売れる商品の特徴などを解説!

●問い合わせ

かながわビジネス・アンテナショップ事務局:(株)ぐるなび内

☎ 03(5985)2485 (平日10:00～18:00)

ホームページ <http://www.kanagawa-antenna.jp/>

県中小企業制度融資をご存じですか？

～さまざまな資金メニューで低利・固定の借入ができます～

中小企業者等の皆さまが、県内で行う事業活動に対し、県と金融機関が協調して融資を行うのが制度融資。

県が貸付原資の一部を負担することで、短期から長期まで低利・固定での融資を行います。

制度融資には、さまざまな資金メニューがあります。新たな資金需要が見込まれる際には、ぜひ利用をご検討ください。

※ 金融機関に申し込み、審査後に融資が実行されます。

※ 原則、県信用保証協会保証付きの融資となります。

資金メニューのご紹介〈緊急経済対策融資〉

小規模・零細企業の年末・年度末の資金繰り支援として、県が保証料補助を実施し、保証料負担の軽減を図っています。

○対象 最近3ヵ月間の売上が前年または2年前の同期と比べ3%以上減少している中小企業者等
(市町村での認定が必要)

○限度額 8,000万円

○融資利率 10年以内 年1.8%以内

○保証料 従業員数30人以下 0.6%

従業員数30人超 0.8%

※ 平成23年3月31日までに神奈川県信用保証協会の保証受付が必要です。

○申し込み 県内取扱金融機関

●問い合わせ

県内取扱金融機関または県金融課融資グループ ☎ 045(210)5677、金融相談員 ☎ 045(210)5695
ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kinyu/seidoyushi/seidoyushi.html>

★ KIPでは、経営総合相談窓口〔☎ 045(633)5200〕と資金支援課〔☎ 045(633)5066〕で制度融資に関する相談をお受けしています。申請に必要な事業計画書の作成なども含め、お気軽にご相談ください。

INFORMATION

募集

「職場のメンタルヘルス対策講演会」のご案内

「心の病」を抱える働く人は増加傾向にあり、人事労務管理におけるメンタルヘルス対策の重要性は一層高まっています。

今回の講演会では、積極的な予防型メンタルヘルスケア、職場復帰の支援と環境づくり、職場復帰後のフォローアップの重要性などについて取り上げます。

また、近年、個別労働紛争が激増し、労働審判に持ち込まれるケースが増えていることから、労使トラブルを予防する労務管理のポイントについても解説します。

○日時 平成23年2月9日(水)14:00~16:45

○会場 かながわ労働プラザ 3Fホール
〈横浜市中区寿町1-4
JR石川町駅中華街口(北口)下車徒歩3分〉

○内容

第1部 14:00~16:00

「職場のメンタルヘルスの実践～予防から復職まで～」

講師：山本 晴義 氏 (横浜労災病院勤労者メンタルヘルスセンター長)

第2部 16:00~16:45

「労使トラブル予防のための労務管理のポイント」

講師：県かながわ労働センター職員

○対象 中小企業の経営者、管理監督者、産業保健担当者、人事労務担当者等

○定員 250人(定員を超えた場合は抽選を行い、落選者にもみ連絡します)

○費用 無料

○申込期間 12月15日(水)~1月21日(金)

○申込方法 講演会名、事業所・団体名、所属名、郵便番号、住所、電話番号、参加者氏名を記載の上、FAXでお送りください。

* お送りいただいたFAXは、当日の参加票になりますので、控えをご持参ください。

●申し込み・問い合わせ

県かながわ労働センター労働福祉課

☎ 045(633)6110 (内線2706) FAX 045(633)5401

募集

中小企業技術開発支援制度説明会

平成23年度に中小企業が行う技術開発に対する補助金等の支援制度について、説明会を行います。ご関心のある方は、ぜひご参加ください。

○日時 ①平成23年1月13日(木) ②同月14日(金)
各14:00~16:00

○会場 ①県産業技術センター 講堂
②かながわ県民センター ホール

○費用 無料

○申し込み 予約不要

●問い合わせ

県産業技術課産業技術グループ、工業振興グループ

☎ 045(210)5646、5640

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kogyo/hojokin/index.html>

調査

製造事業所の皆さま 工業統計調査にご協力ください

経済産業省では、12月31日(金)現在で工業統計調査を行います。この調査は、製造業を営む事業所を対象に、その活動実態を明らかにすることを目的に実施するものです。

調査にあたり、12月中旬から来年1月にかけて統計調査員が事業所にお伺いします。年末年始のお忙しい時期と重なりますが、調査へのご協力をお願いします。

なお、調査票にご記入いただきます内容は、統計法に基づき統計作成以外の目的には一切使用しません。正確なご記入もあわせてお願いします。

○調査内容 従業者数、製造品出荷額、原材料使用額等

○実施機関 経済産業省、神奈川県、県内市区町村

●問い合わせ

県統計センター工業統計課 ☎ 045(210)3221

1月の「受・発注取引あっせん相談活用」のご案内

～新規取引先・発注案件をご紹介します～

KIPでは、製造業等の中小企業の皆さまから下請取引あっせんなどのご相談をお受けする“巡回あっせん相談”を、毎月県内各地で実施しています。

この相談は、KIP職員が皆さまのお近くの開催場所に出向き、新規取引先の紹介や県内外の発注企業の動向、KIPに申し出のあった発注案件などの情報提供を行うものです。

巡回あっせん相談を契機に、新規取引先を獲得した企業も数多くあります。新規取引先の開拓をお考えの企業の皆さま。ぜひご活用ください。

※「巡回あっせん相談」は、川崎駐在事務所と相模原駐在事務所でも実施していますので、あわせてご活用ください。

●問い合わせ 取引振興課 ☎045(633)5067

■1月の開催日程

開催場所	開催日	時間
藤沢商工会議所	11日(火)	13:00～16:00
小田原箱根商工会議所	12日(水)	13:30～16:00
横須賀三浦地域県政総合センター	13日(木)	13:00～16:00
秦野商工会議所	14日(金)	13:00～16:00
茅ヶ崎商工会議所	17日(月)	13:00～16:00
平塚市役所 市民相談室	18日(火)	13:30～16:00
大和商工会議所	18日(火)	13:00～16:00
川崎駐在事務所(※1)	毎週木曜日	13:00～17:15
相模原駐在事務所(※2)	12日(水) 26日(水)	13:00～16:00

※1 川崎市産業振興会館6F
 ※2 相模原商工会議所3F相談室内
 (相模原商工会議所の専門相談として実施)

湯河原温泉 万葉荘

お正月・クリスマスは楽しいイベントで
 皆さまをお待ちしています。
 ぜひ万葉荘へ、お越しください。

1月1日 鏡割り・餅つき

1年の初めを寿ぎ、年を越してお泊まりの皆さまとともに日本酒樽の鏡割り・乾杯を行います。餅つきは庭園で行います。つきたてのお餅は、餡や大根おろしと絡めてお召し上がりいただけます。お餅つきにはもちろんお客さまもご参加いただけます。

1月2、3日 クジ引き

両日にお出でのお客さまには万葉荘で用意した景品が当たるクジを引いていただけます。何が当たるかはその時のお楽しみ。空クジはありません。

※ その他、専門家が指導する「お子さま陶芸教室」、日本の正月の代表的な遊び「百人一首」もお楽しみいただけます。

12月25日まで、 万葉荘“クリスマスイベント”実施中

ドイツのクリスマスケーキ「シュトレン」を万葉荘厨房で焼き上げました。コーヒーやホットワインとセットでお召し上がりください。

「シュトレン」は、ドライフルーツがいっぱいの発酵菓子。どてっとした形がキリスト生誕時の産着に包まれている様子を表していると言われていました。だから、表面が白いのです。ドイツの雰囲気を感じながら、ほっとしたひとときをお過ごしください。



みかんのうまみをキャラメルにとじこめました

～みかんキャラメル(大粒)～

万葉荘
 おすすめの
 お菓子

みかんの果汁をたっぷり含んだ大粒のキャラメル! お口に入れると甘さのなかにみかんの香りが広がります。みかん処湯河原にぴったりのお菓子です。ぜひご賞味ください。



●ご予約・お問い合わせ ☎0465(62)3755

湯河原温泉 万葉荘 足柄下郡湯河原町土肥3-6

ホームページ

<http://www.manyoso.jp/>

万葉荘

検索

CONTENTS

- 「テクニカルショウヨコハマ2011」開催……………1
- 「かながわビジネスオーディション2011」第2日目に開催……………1
- 企業インタビューシリーズ②……………2
- 平成22年度 受注企業実態調査結果報告……………3
- 中小企業応援センター
「新現役マッチング支援」事例のご紹介……………4
- 明日の商店街を探る⑥……………5
- “サポートかながわ”誌上相談⑩……………6
- 下請法 早わかり 第11回……………6
- 第3回神奈川県海外駐在員レポート……………7
- 技術開発のパートナー 産技センターレポート……………8～10
- 「かながわりサイクル認定製品」として14製品を初認定……………11
- 「海外における販売店契約の注意点セミナー」のご案内……………11
- 技能ルネッサンス! かながわ2010開催……………12、13
- 第8回神奈川県障害者技能競技大会開催……………13
- 県観光情報ホームページ「かなたび」サイトオープン……………13
- 神奈川県最低賃金改正のお知らせ……………14
- スキルアップセミナーのご案内……………14
- “神奈川県産品”展示・商談会を開催……………14
- 県中小企業制度融資をご存じですか?……………15
- INFORMATION……………15
- 1月の「受・発注取引あっせん相談活用」のご案内……………16
- 湯河原温泉 万葉荘……………16